

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト

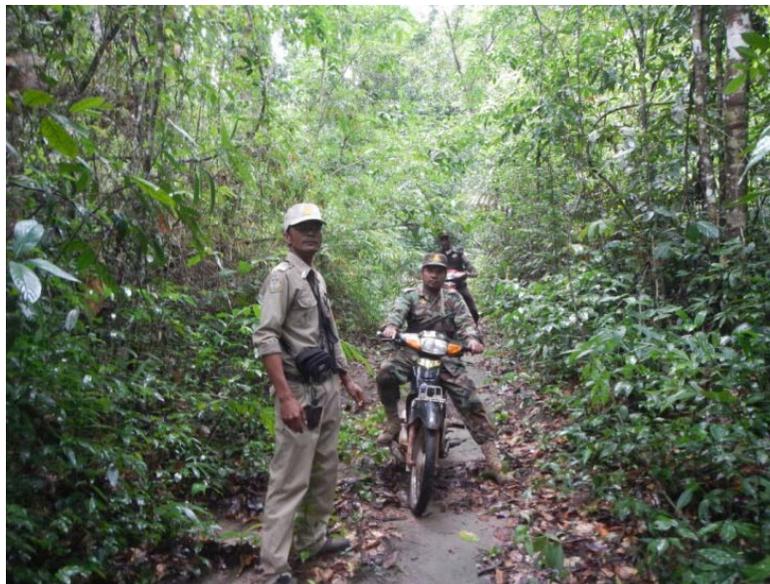
現地からのお便り

2016年8月
コンサベーション・インターナショナル

中央カルダモン国立公園の管理

カンボジア国内の保護区を担当する政府の体制が変更となり、4月から、管轄が森林局から環境省に移りました。これにより、「中央カルダモン保護林」は、「中央カルダモン国立公園」(Central Cardamoms Mountains National Park)となりました。保全対象地域も拡大され、また、コミュニティが有する森林資源の管理における権利も増えました。森林保護活動を継続できるよう、レンジャーたちの所属も、森林局から環境省へ移行させつつあります。新たな国立公園の管理計画を作る重要な第一歩として、環境省と協力し、広大な国立公園をエリアごとの条件に合わせて管理するためのゾーニングも始めました。

また、森林局と環境省と協力しながら、CCMNPの六ヶ月の活動計画と予算を作成しました。活動計画には、1) CCMNPの管理計画の完成、2) 安全手順書の完成とレンジャーに対するコミュニティ支援実施のためのトレーニング、3) SMART等を活用したデータ収集効率の向上、4) 環境省と協力してのゾーニング、5) レンジャーの活動拠点施設の改善の項目が含まれています。



パトロール中のレンジャーたち © Peov Somanak

トラストファンド（基金）

6月16日、12名の理事会メンバーの出席のもと、トラストファンド理事会が開催されました。

理事会では、CIと環境省の覚書締結の状況、過去半年間の報告、次の半年間の作業計画と予算、中央カルダモン保護林の監督省庁が森林局から環境省に移行することについての法令と、移行に伴う様々な変更、トラストファンドの現在の状況等について話し合いました。さらに、財政に関する分科委員会の設立と、管轄の変更に伴う理事会への新メンバー加入について、合意がされました。

パトロールと違法行為への対応

監督省庁が森林局から環境省へ移行し、いつ、誰によってお給料が支払われるかも分からない中でも、レンジャーたちは保全のための取り組みを続けています。レンジャーたちの保全に対する献身的な姿勢に改めて気づかされました。



ロレックでパトロール中のレンジャー
© Peov Somanak



Thmr Bang におけるレンジャー
© Jeremy Holden

管理チームは定期的に打ち合わせをし、移行期間をどのようにやりくりするのが最善か、レンジャーたちの所属はどのように移行させるか、パトロールの継続方法、環境省との関係の強化方法などを話し合いました。ダイキンの支援により、コミュニティによるパトロールを継続させることが出来ています。現在、絶滅の危険性が高いアロワナ（ドラゴンフィッシュ）とシャムワニに注力したパトロールを行なっています。

トレーニング

レンジャーたちに、SMART（地理情報をパトロールに活用するツール）に関する復習、GIS（地理情報処理システム）の扱い方、コンパスや地図の読み方に関するトレーニングを行いました。また、違法行為の発見と報告を効率よくするため、CI スタッフにスマホ用アプリ（WildScan と Cyber Tracker）のトレーニングも行いました。

カメラトラップデータ

雨季に入るので、カメラトラップを撤去しました。乾季までの間、カメラトラップを修理したり、収集したデータの分析をしたりします。

コミュニティ主導型のエコツーリズム（Community Based Eco-tourism）

Tatai Leu 村におけるエコツーリズムの立ち上げが順調に進んでいます。Tatai 川に面したエコロッジとの連携も拡大し、多くの宿泊客がプロジェクトサイトを訪れるようになってきました。Tatai Leu 村を訪れる多くのスタディーツアーもあり、コミュニティ内でのプロジェクトへの熱意も高まっています。レンタサイクルのための自転車も購入され、バードウォッチングやハイキングツアーも新たに作られました。



Tatai Leu を流れる Areng 川 © Jeremy

コミュニケーション

現在製作中の、レンジャー向けのニュースレター第二号は、8月中旬に完成予定です。フェイスブックも9月頃に始める予定です。